

月	指導項目	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	チャットランを用いたチャットシステムをプログラミングする	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。	・フローチャートやアクティビティ図でプログラミングの基礎的思考を身に着けることができる。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、プログラミングへの知識を互いに深めることができる。	
5 6 7	プログラムによる計測・制御(4)	簡単な計測とプログラムの制御の仕組みを理解する。	・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。	・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。	・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。	
9 10 11 12	表計算ソフトを使って、表の作成、関数の使用、グラフの作成ができる。	表計算ソフトを使って、関数の利用やグラフの作成を行う。	・プログラムの知識を踏まえ、Excelを使うことができる力を身に付けている。	・身近なシステムや自動化の技術の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。	・主体的に情報の技術について考えようとしている。	
1 2 3	技術分野の学習を終えて	中学校3年間の技術の学習内容を振り返る		地球環境や将来の世代のための技術について考え、10年後、50年後の未来について考えることができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術、生物育成の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術の4分野を基に工夫して創造しようとしている。	

3 学年 計17.5時間

